※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００２

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　標準文学国語」（第一学習社）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア　四訂版（尚文出版） 新訂版　最新国語便覧（浜島書店） 論読　評論文（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文学作品を読み、言語文化に対する理解を深め、感性を養います。
・課題に対して自ら考え、言葉としてその考えを表現し、それを通して他者との相互理解を深めていくために周りの人と協働で考える活動なども行います。
・家庭学習などの課題を提出してもらいます。とにかく自分の頭で考えることが出来るよう、あきらめずに取り組むこと。一朝一夕には力はつきませんが、コツコツ努力をつづけることが、「能力を身に付ける」近道です。
・長い文章を読む癖をつけるため、図書館を利用して、読書の習慣をつけましょう。
・定期的に副読本を使用して漢字の小テストを行います。しっかり取り組みましょう。
・副読本を用いての読解力を身につける課題も丁寧に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)　深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	主人公の気持ちが変化する過程を、彼女の身の上に起こった出来事を通して読み取る。 ［教材］ 「調律師のるみ子さん」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c:「るみ子さん」の身に起こった出来事を読み取り、その心情の変化を粘り強く読み取ろうとしている。	定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート
	主人公の心理の変化と、死を受け入れるまでの過程を読み取る ［教材］ 「デューク」	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[書]:「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c:「私」の行動を整理し、「少年」との交流を通して「私」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えようとしている。	定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する ［教材］ 「ナイン」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:場面の移り変わりや登場人物の発言を粘り強く読み取り、それぞれの人間関係を捉えようとしている。	定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
2学期	日本の伝統文化を論じた文章に触れ抽象的な内容がどのように説明されているか理解する ［教材］ 「花のいざない」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c:粘り強く随想を読み、学習課題に沿って、その構成・展開や表現について説明しようとしている。	定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。 ［教材］ 「真珠の耳飾りの少女」 「フェルメールの技を読む」	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 b[読]:「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:二つの文章を粘り強く読み、学習課題に沿って、それぞれの文体・表現の特徴を理解しようとしている。	定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	物事の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ ［教材］ 「こころ」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c:場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。	定期考査	発表 ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間